

テレビニュース番組の娯楽化に関する研究

教育内容・方法開発専攻

認識形成教育コース

学籍番号 M11130F

氏名 光明

一、研究の目的

テレビ業界では、視聴率至上主義が蔓延し、番組を墮落させている。ニュース番組では、視聴率を上げるために、内容や構成に様々な工夫が凝らされているが、これをニュース番組の娯楽化の傾向としてとられる先行研究が少なくない。ニュース番組の娯楽化による悪影響が拡大しており、問題視されている。本論文では、始めに、番組を墮落させている視聴率至上主義について解明し、先行研究に基づいてニュース番組の娯楽化の傾向を明らかにする。その上で、ニュース番組の娯楽化による番組と社会への悪影響を考察し、さらには、ニュース番組の科学的娯楽化が進められていることを明らかにする。

二、論文構成

序章 研究の背景と目的

第一章 テレビ業界の視聴率至上主義

第一節 テレビ視聴率とは

第二節 テレビ視聴率至上主義の変遷

第一項 日本におけるテレビ視聴率至上主義の変遷

第二項 中国におけるテレビ視聴率至上主義の変遷

第二章 なぜ、ニュース番組の娯楽化なのか

第一節 ニュース番組の変遷

第二節 ニュース番組の娯楽化の傾向

第三章 なぜ、ニュース番組の娯楽化が問題なのか

第一節 番組への悪影響

第一項 ニュース番組のソフト化

第二項 ニュース番組の演出の過剰化

第三項 ニュース番組の低俗化

第二節 社会への悪影響

第四章 なぜ、ニュース番組の科学的娯楽化が進められるのか

第一節 取材と事実性の重視

第二節 表現形式の重視

第一項 BGM からの表現

第二項 コメンテーターからの表現

終章・結論

参考文献

三、研究の概要

本稿の概要は以下の通りである。

第一章では、テレビ視聴率至上主義について説明するとともに如何にしてニュース番組の娯楽化がもたらされているのかを検討する。第一節では、テレビ視聴率とは何かを先行研究に基づいて解明する。第二節では、テレビ視聴率至上主義の変遷について、日本と中国における視聴率至上主義の変遷を紹介する。

第二章では、ニュース番組の娯楽化の変遷と現状を考察する。第一節では、ニュース番組の変遷を分析する。第二節では、先行研究に基づいてニュース番組の娯楽化がどのように進んでいるのかを紹介する。

第三章では、ニュース番組の娯楽化が番組と社会にもたらした悪影響を検討する。第一節では、番組への悪影響を解明する。第二節では、社会への悪影響を解明する。

第四章は、ニュース番組の科学的娯楽化について検討する。本章では、第一節の取材と事実性を重視及び第二節の表現形式の重視に分けて解明し、今後のニュース番組の科学的娯楽化について展望する。

四、研究の成果と今後の課題

1、本稿では、テレビ関係者は「誤差の大きい視聴率」に左右されること、また、ニュース番組の娯楽化の重要な原因であり、視聴率至上主義は確実に存在することを解明した。

2、先行研究により、依然としてニュース

番組の娯楽化が進んでいること、それとともにニュース番組の娯楽化による社会と番組への悪影響が拡大してきていること（特に、ニュース番組のソフト化、ニュース番組の演出の過剰化、ニュース番組の低速化）を明らかにした。

3、現在、ニュース番組では、取材と表現形式の過程でいろいろ問題がある。ニュース番組の科学的娯楽化を進める上で、「取材と事実性の重視」「表現形式の重視」は必要不可欠であることを主張した。

4、今後の課題として、本稿では、先行研究に基づいて、ニュース番組の娯楽化の傾向を解明したが、筆者自身は調査を行っていない。そのため、最新の情報を得るために調査研究が必要である。また、ニュース番組の科学的娯楽化を進めようとする、
「取材と事実性の重視」「表現形式の重視」は必要であるが、それだけでニュース番組の科学的娯楽化をもたらすことはできないと考える。かつニュース番組の科学的娯楽化に関する研究は非常に少ないため、今後の大きな課題としたい。

主任指導教員 首藤明和
指導教員 首藤明和